

ルールは 誰のもの？

～みんなで考える法教育～



法の重要性を、身近な事例で体感しよう

法教育推進協議会

法やルールって、 なぜ必要なんだろう？

～私たちと法～



法やルールの意義を理解し、生きる力を育む法教育

法教育推進協議会

ねん 年 くみ 組 ばん 番 なまえ 名前 ()



とも 友だちとのけんかをどのようにしてかい決したらよいだろう

① Aさん, Bさんはどんなことにおこっいて, どんな気持ちでしょうか。

Aさん

Bさん



はな あ ② 話し合ってみてどんな気持ちになりましたか。

③ どうしたらけんかをかい決できるとおもいますか。

きょう じゅぎょう かんそう か ④ 今日の授業の感想を書きましょう。

第2 指導計画

3部構成・総合計3時間
(1部構成とし、1時間とすることも可能)

第1時

けんかの解決方法を 考えよう「交渉編」

特別活動

本時の
ねらい

友だち同士のけんかを当事者間の交渉によって解決する活動を通じて、けんかとその解決方法について考えさせる。

【留意点】

〔学級活動〕〔2 内容〕〔共通事項〕〔(2) 日常生活や学習への適応及び健康安全〕は、集団での話し合いを通して、個人の目標を自己決定し、個人で実践する児童の自主的、実践的な活動の特質としている。したがって、これらの特質を踏まえた話し合い等の活動過程を大切にしていく。



	学習活動	指導上の留意点・資料	目指す児童の姿
事前の指導	● 題材を知る。 「友だち同士のけんかとその解決」 自己の体験・経験について、アンケートに答え、振り返っておく。	● 道徳 役割・責任 「身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす」と関連させて指導する。 ● 「友だち同士のけんか」についての様々な体験を掘り起こす。	● 「友だち同士のけんか」について、自分の体験を振り返っている。
本時の活動	● けんかを解決するための交渉・調停を役割演技によって児童に行わせることを通じて、自分たち自身の力や第三者の介入の下で紛争解決を行うことの意義と心構えを児童に実感として理解させる。	● 自己の体験を振り返りながら、資料1の事例を通じて、「紛争を解決すること」について考える。 ● 資料 〔事前アンケート結果〕 参考資料1(教師用)	● 紛争を解決することの重要性をつかんでいる。 ● 紛争を解決する際にどのような態度が必要か実感できている。
事後の指導	● 紛争を解決する際に必要とされる態度を学んだことを受け、それを日々の生活の中で活かせるよう努力する。 ● 自身の成長を振り返る中で、更なる課題意識を持つ。	● 紛争の解決に苦手意識のある子どもには、自分の生活を定期的に振り返らせ、生活の中で起こる紛争を解決するための必要な態度及び心がまえを身につけさせる。	● 自分の不満や他人の不満を聞く際の言葉遣い・態度を身につけている。